

地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	長崎県	事業実施主体	長崎県、平戸市	地域再生計画名	地域資源を活かした「潮の香ただよふれあい港づくり」の創出
計画期間	平成17年度～平成27年度	評価責任者	長崎県港湾課長、平戸市水産課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況（見込み）	指標		基準値		中間目標値			最終目標値（見込み）		評価	最終目標値の実現状況に関する評価	
	指標 1	指標 2	基準年度		年度	中間実績	基準年度	実績				
	指標 1	交流人口の増大	2,271千人	H12	—	—	—	2,890千人	H28	2,625千人	△	港湾整備や漁港整備の効果により、交流人口は増加し、H21年には2,925千人に達し、目標値を達成した。H28は熊本地震の影響により観光客数が減ったが、今後は観光振興策を強化し、交流人口の回復を図る必要がある。
	指標 2	海の駅「潮騒街道たびら港」（仮称）来訪者数	0人	—	—	—	—	58,400人	H28	413,591人	○	港湾整備と連携して「平戸瀬戸市場」が開設され、目標値を大きく上回る来訪者数が訪れており、目標を達成している。
	指標 3	アジ・サバの消費拡大	8万9千トン	H14	—	—	—	10万1千トン	H28	7万6千トン	△	港湾整備や漁港整備の効果により、H23年には松浦魚市場の取扱量が10万3千トンに達し目標値を達成した。その後漁獲高が毎年変動を続けながら推移しているが、安定した漁獲物の供給を図ることができるよう引き続き港湾整備を進める必要がある。
	指標 4	調川港緑地での地域交流と活性化	0人	—	—	—	—	25,000人	H28	25,560人	○	港湾の整備による効果により、イベント等が開催されるようになり、目標が達成できている。

②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況（見込み）	指標 1										
	指標 2										

③事業の進捗状況（見込み）	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度	最終実績	

特別措置を適用して行う事業	港湾施設（田平港） 浮桟橋（移設） 岸壁（-6m）（改良）	1基 22m	—	1基 22m	計画どおりに整備が完了している。
	港湾施設（調川港） 泊地（-6.5m） 浮桟橋 物揚場（-3m）（改良）	39,000m ² 1基 40m	—	39,000m ² 1基 40m	計画どおりに整備が完了している。
	港湾施設（平戸港） 泊地（-3m） 浮桟橋 道路	107m ² 1基 50m	—	23m ² 1基 50m	泊地（-3m）については、実施測量などによる現地精査の結果、実施数量が縮小したが、その他の施設については、計画どおりに整備が完了している。
	港湾施設（大島港） 駐車場	2,000m ²	—	1,500m ²	道路計画の変更に伴い、駐車場の面積が縮小させ、整備を完了している。
	漁港施設（釜田漁港） -2.5m泊地 -2m泊地 道路（A） 用地（A）	120m ² 1,530m ² 440m ² 2,100m ²	—	120m ² 1,530m ² 440m ² 2,100m ²	計画どおりに整備が完了している。

その他の事業	田平港シーサイドエリア再構築事業	港湾背後地を活用して、直売所やレストラン、駐車場等を配置し、地域の活性化を図る。	観光案内所、物産直売所、レストランを備えた「平戸瀬戸市場」が開設し、計画以上の観光客が訪れており、地域活性化の中心的役割を果たしている。
	平戸港周辺地区景観形成事業	街並みの景観整備を図るため、建物の修景や電線地中化を行う。	公告景観形成事業と電線地中化事業については、平成27年度までに整備を完了している。引き続き、街なみ環境整備事業を実施しているところである。

計画外で独自に実施した事業			
---------------	--	--	--

④評価方法	関係機関に聞き取り等調査を実施し、評価を行った。
-------	--------------------------

⑤事後評価の公表方法	長崎県土木部港湾課のホームページに掲載する。
------------	------------------------

⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、港整備交付金を活用した港湾整備と漁港整備を一体的に実施し、平戸松浦地域の交流拠点の整備と漁業基盤の強化を図ることで、観光交流人口の増加などの効果を発現できた。漁獲物の取扱量についても目標を達成したが、毎年変動しながら推移しており、安定した漁獲物の供給を図ることができるよう引き続き整備を続ける必要がある。
------------	--

⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、円滑に整備が進み、交流人口の増加など地域経済の活性化が図られている。漁獲物の取扱については、引き続き「浅茅湾マグロ養殖にかかる給餌・給氷基地整備の連携計画」を策定しており、調川港で水揚げされる水産物の輸出強化や県内マグロ養殖に使用される餌の供給機能強化といった近年の水産業の多様化に対応するべく整備を進め、地域水産業の活性化を目指す。
---------	--